

環境省実証事業

実証対象事業に関する説明資料 (トライシクル株式会社・日本語版)

みずほリサーチ&テクノロジーズ



(1) 事業概要 トライシクル : ReSACO

- トライシクルは、企業の使わなくなったモノを必要とする買手企業に販売するマッチングするプラットフォームアプリ「ReSACO」を運営している。
- 「ReSACO」では、不用品を一括して引き受け、トライシクルがリユース品とリサイクル品を分別する「不用品まるっとおまかせサービス」と、リユース品を無料で回収する「プレミアム無料回収サービス」の二種類のサービスを提供。
- 取扱商品は、オフィス什器（机、椅子、キャビネット等）、家電製品（作動するPC、タブレット等）、建設資材（工具等）、店舗備品（食器、厨房機器等）

企業名	トライシクル株式会社
設立年	2018年
本社	東京都品川区
従業員数	約180名（サイ클ーズグループ連結、2021年）
グループ	サイ클ーズグループ（東港金属、TML、トライメタルズ）
事業内容	企業間での、リユース、リサイクル、廃棄までの取引を行うプラットフォームサービスを提供
資本金	1,000万円

ReSACO（不用品まるっとおまかせサービス）



（出典）トライシクル提供

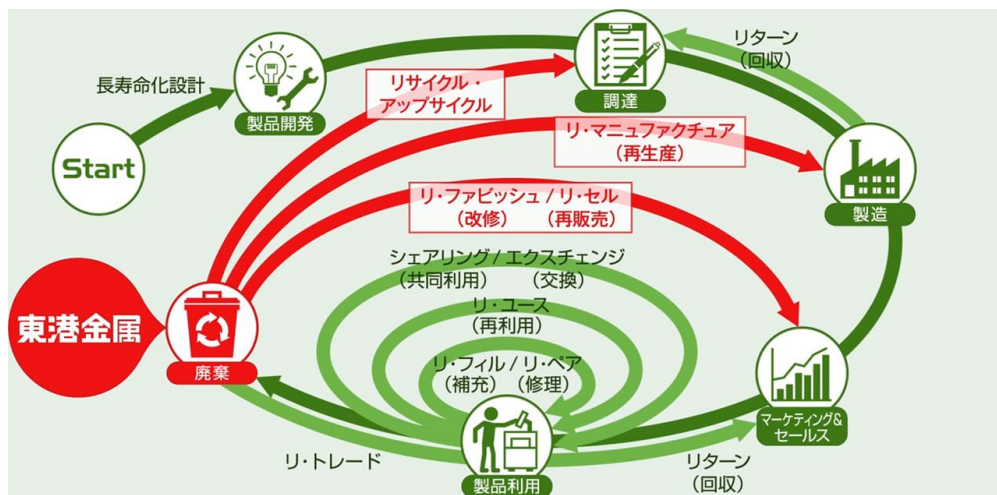
ReSACO（プレミアム無料回収サービス）



（出典）トライシクル提供

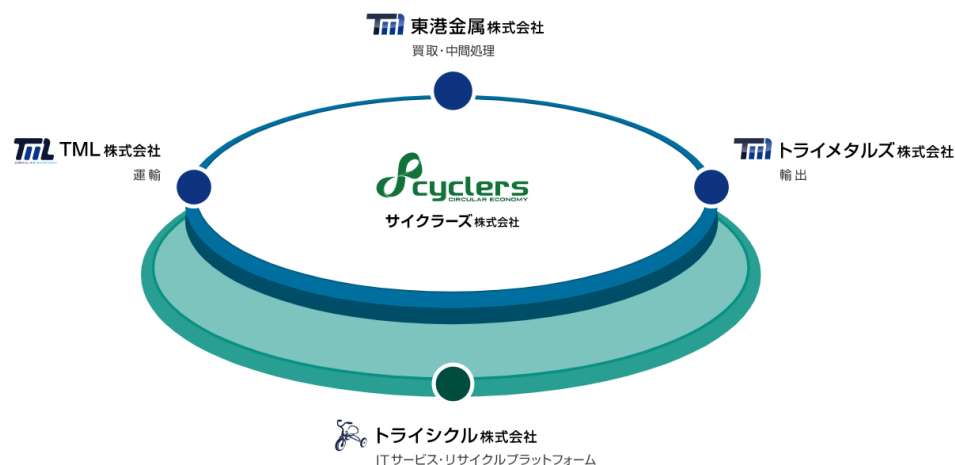
- トライシクルを含むサイ클ーズグループは、廃棄物の処理・管理と合わせて、使用済み・廃棄された物を無駄なく循環させるサーキュラーエコノミーに向けて静脈・動脈産業の垣根を超えた役割を果たすことを目指している。
- 「ReSACO」はサイ클ーズグループと協力事業者が連携してサービスを提供しており、トライシクルが「ReSACO」（プラットフォーム）を運営し、輸送をTMLと協力事業者、買い取りと中間処理を東港金属、金属スクラップの輸出をトライメタルズが担っている。
- トライシクルはマッチングプラットフォームである「ReSACO」に加え、新たにシェアリングプラットフォームの開発を検討中である。

サイ클ーズグループが考えるサーキュラーエコノミー



(出典) サイ클ーズホームページ

サイ클ーズグループ企業の役割



(出典) サイ클ーズホームページ

(3) 事業のポイント

トライシクル：
オンラインマッチングプラットフォーム「ReSACO」

ReSACO（不用品まるっとおまかせサービス）

- 「ReSACO」の利用者から不用品をワンストップで回収。
- トライシクルが利用者を訪問し、リユース品とリサイクル品を選別して回収。
- リユース品は買い取りとなるため、利用者は不用品の廃棄費用を削減することが可能。
- リサイクル品は東港金属で再資源化と廃棄処理を実施。



これまでの不用品処理とは違う、ReSACOを選ぶべき5つの理由



(出典) トライシクル提供

ReSACO（プレミアム無料回収サービス）

- 独自のノウハウと流通網により輸送費を抑制することで、「ReSACO」利用者が不用品を廃棄するための費用の無料化を実現。
- 利用者はスマートフォンで不用品の写真と、回収場所を「ReSACO」に送れば、サイクラスグループの運送事業者であるTMLが無料で回収。



(出典) トライシクル提供

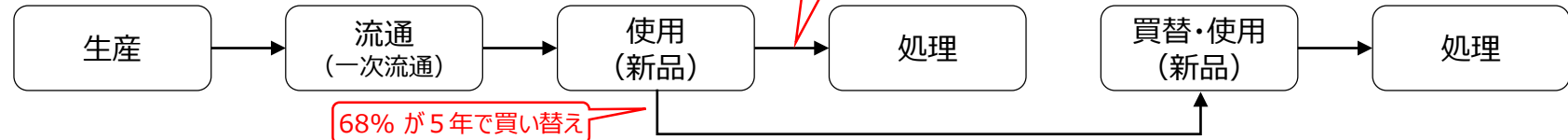
(4) 事業フロー（効果推計のためのシナリオ）

トライシクル：
オンラインマッチングプラットフォーム「ReSACO」

シナリオフロー

ベースライン

新品で購入したオフィス什器が製品寿命前に使用済みとなり廃棄



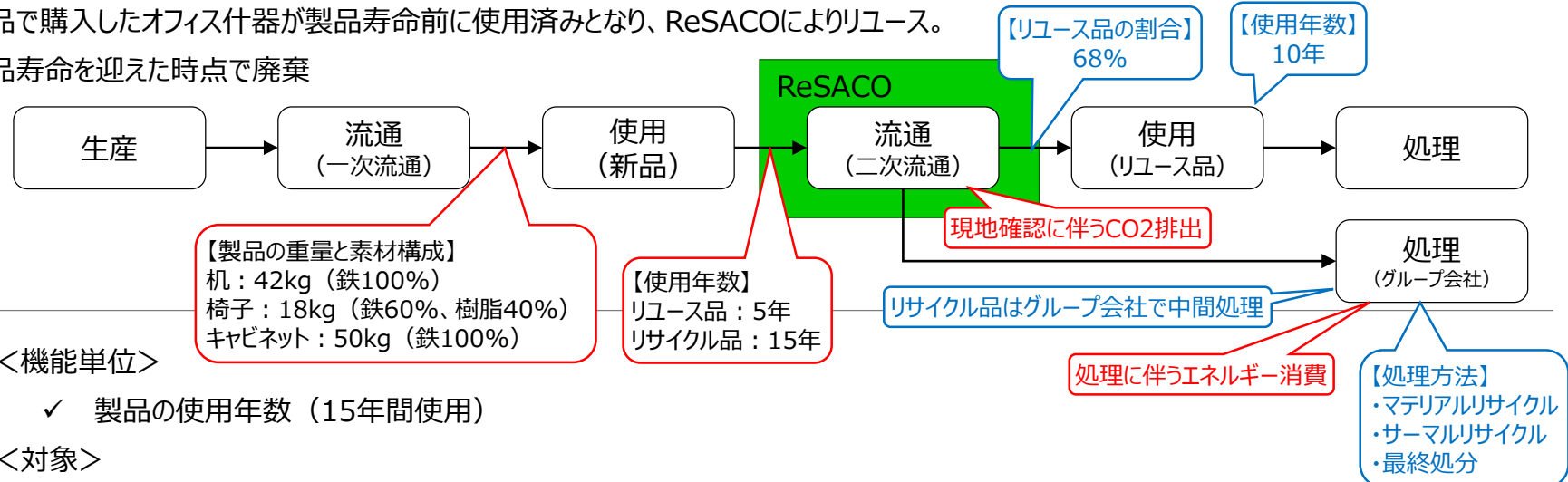
脱炭素型 2 Rビジネス

【機能単位（製品の使用年数）】

ベースライン : 15年 = 5年（使用（新品）） + 5年（買替・使用（新品）） × 2回
脱炭素型2Rビジネス : 15年 = 5年（使用（新品）） + 10年（使用（リユース品））

新品で購入したオフィス什器が製品寿命前に使用済みとなり、ReSACOによりリユース。

製品寿命を迎えた時点で廃棄



想定条件

<機能単位>

- ✓ 製品の使用年数（15年間使用）

<対象>

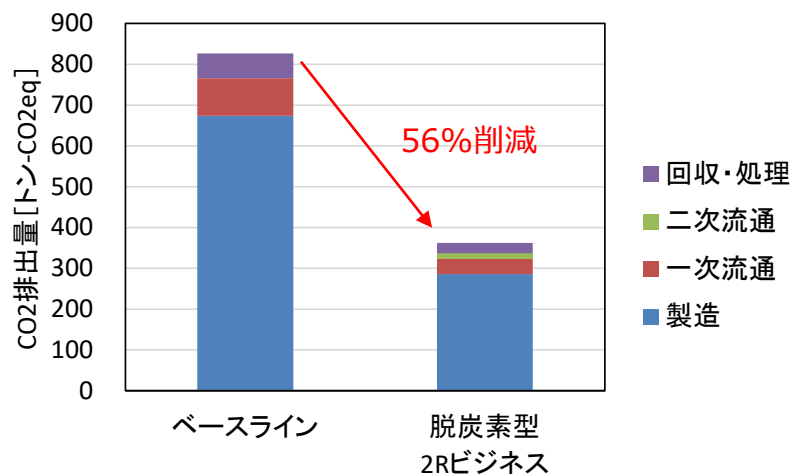
- ✓ 対象製品 : オフィス什器（ReSACOが1年間に扱うオフィス机857台、椅子5,102脚、キャビネット809台）
- ✓ 対象範囲 : 新品オフィス什器の生産から、廃棄までの全段階

(5) 事業の環境面の効果

トライシクル：
オンラインマッチングプラットフォーム「ReSACO」

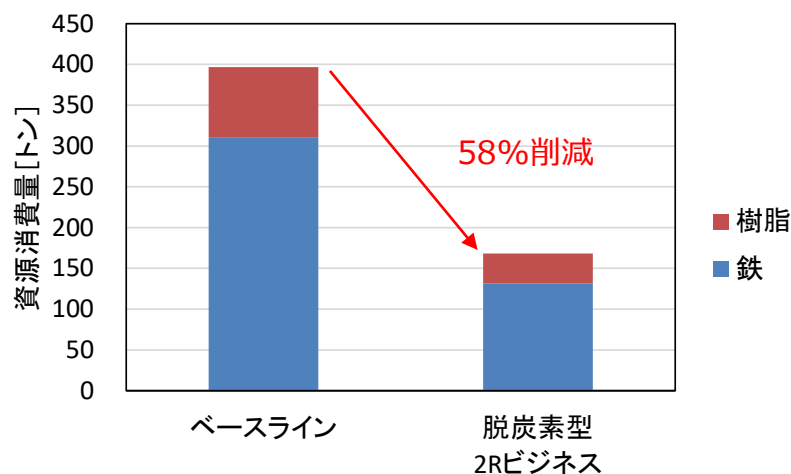
低炭素面の効果

- ✓ 使用できるにもかかわらず廃棄されていた製品をリユースすることにより製品の使用期間が延長されることによってCO2の排出量が56%削減される。
- ✓ 事業実施シナリオではリユースのための製品回収や点検、輸送に伴うCO2が発生するが、これを加味しても事業実施シナリオによりCO2排出量を削減することができる。



資源循環面の効果

- ✓ 使用できるにもかかわらず廃棄されていた製品をリユースすることにより製品の使用期間が延長されることによって資源の消費量が58%削減される。



<算定条件>

- ✓ 評価対象製品は5年で使用済みとなり廃棄処理される。リユースされる場合はその後10年間使用される（製品寿命15年）
- ✓ ReSACOで回収された製品のうち32%は既に15年間使用されているため廃棄処理される。
- ✓ ReSACOで回収された製品が廃棄処理される場合、鉄はマテリアルリサイクルされ、樹脂はサーマルリサイクルと最終処分される。
- ✓ ReSACOで回収されずに廃棄処理される場合、鉄はマテリアルリサイクルと最終処分され、樹脂はマテリアルリサイクル、ケミカルリサイクル、サーマルリサイクルと最終処分される。